

「ゲー固!」はゲーム関連のキャラクターを
テーマとした固め系CG集です。

第一弾となる本作はRPG以外の作品
およびイベントシーンなどの固めをピックアップして
構成しています。



少女奇想歌劇

<http://kisoukageki.blog47.fc2.com/>

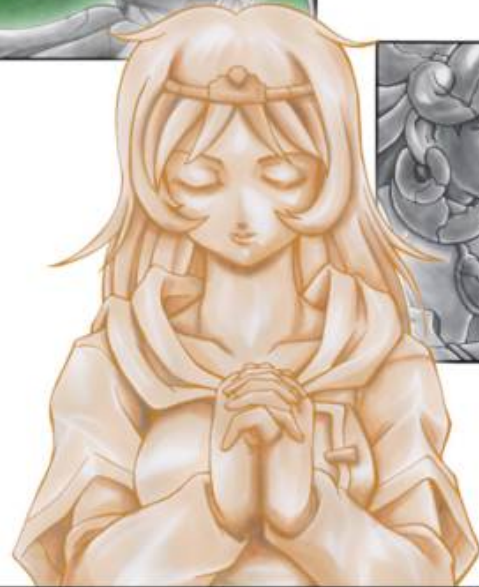
推奨環境
Internet Explorer6.0以降のブラウザ
1024×768以上の解像度のモニター
WindowsXP動作。DVD-ROM読み込み可能なPC

※18歳未満の方のご購入はご遠慮させていただきます



ゲー固!

VOL.01



DVD
ROM

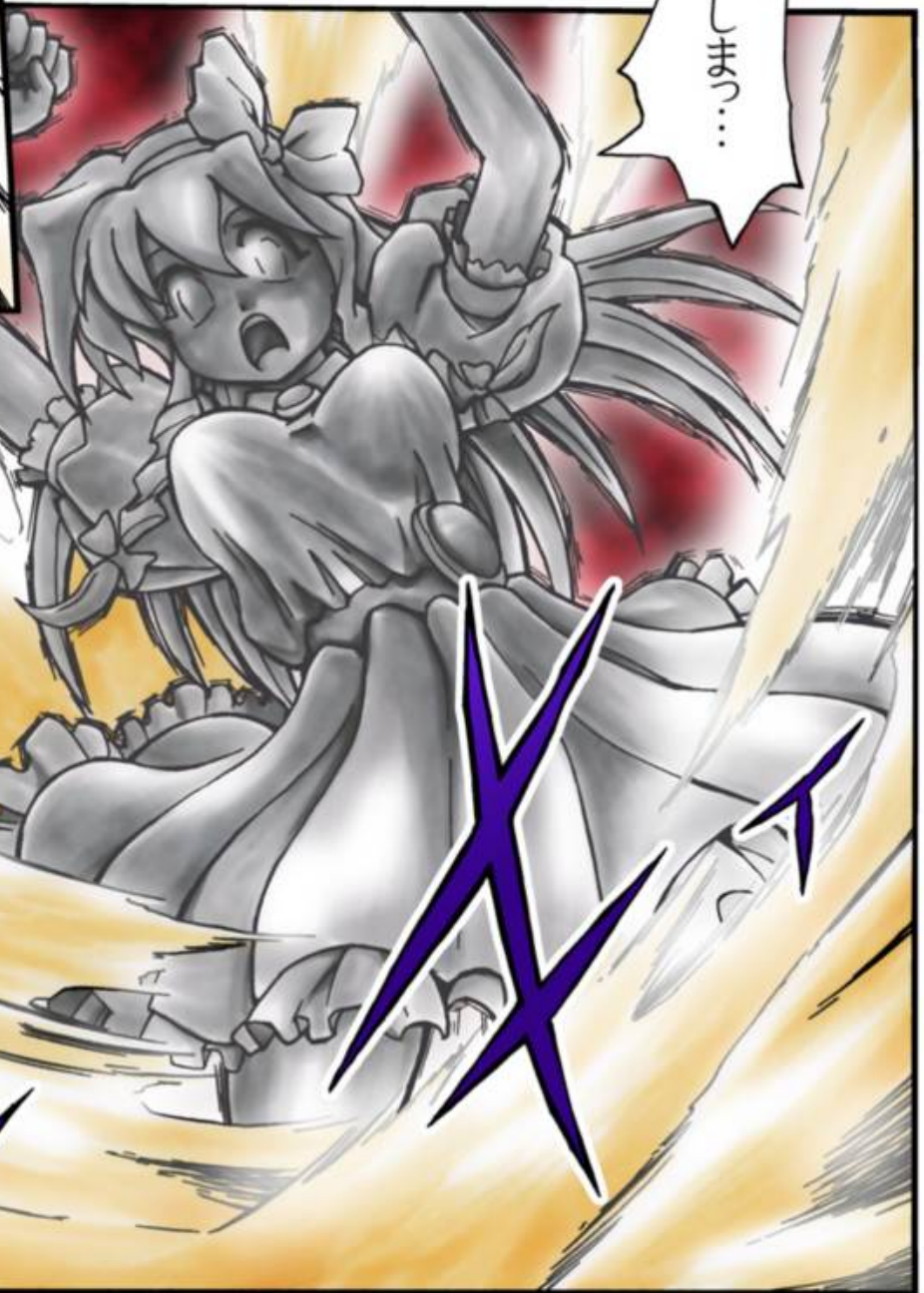
DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

少女奇想歌劇

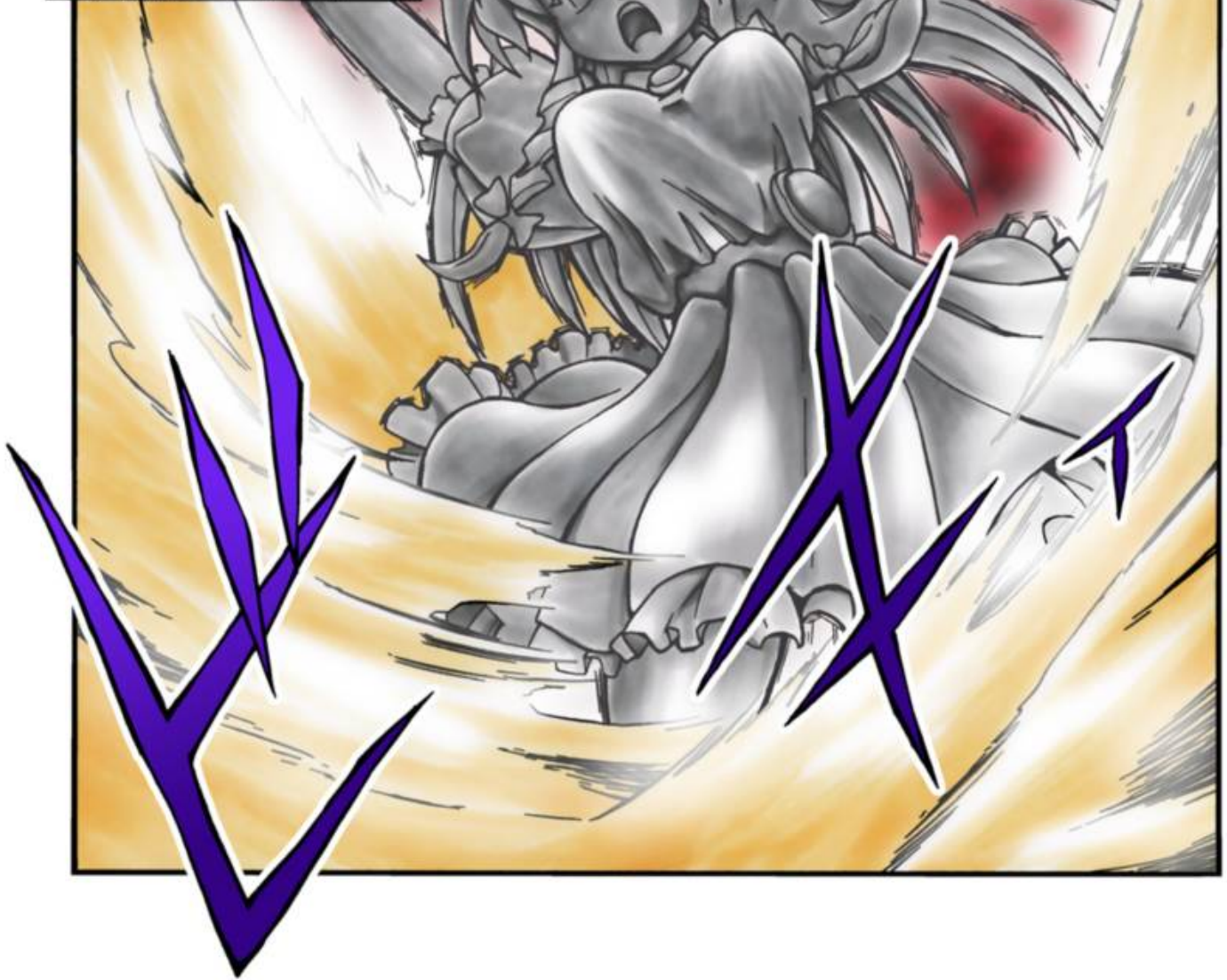


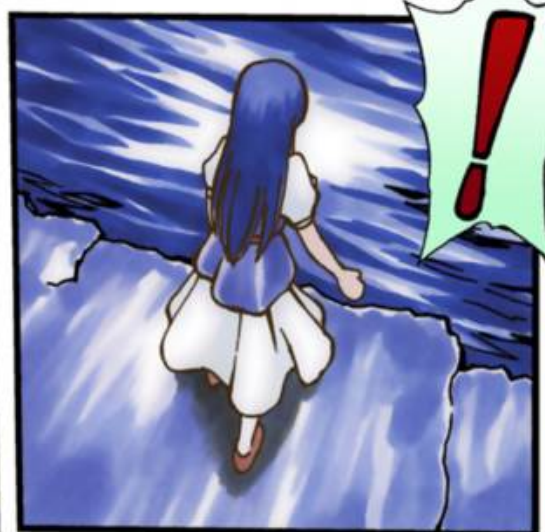


もう
一体いた!?



しまっ…





ああああ





フーッ！
フーッ！
フーッ！
フーッ！
フーッ！




あ、あたしも
石に...なるわ。









「無様な姿だな女神に仕えし愚かな巫女よ
キサマは「J」でそのまま石となるのだ」

「私の身体はこの後あなたに弄ばれるのかもしれない…でも心は
心は決して屈したりしません」

「ほう…面白ければためしてやろう」

「む…んんツ!!」

「どうだローパー、じきの触手の味は？」

「じ…んんんツ!!」

「ククク その口では上手くしゃべれんか…では!!」



「!?…これは私の声が」

「これでオマエの思っている事が声としてきこえるようになった
ゆえに…ウソもつけん訳だ さあでどこまで頑張れるかな…巫女よ」



「どうだ？そろそろ気持ちよくなってきたのではないか？」

「い…いたいー
く…はあ…苦し…うー」

「ふむう やはり生娘
さらに神の巫女ともなれば簡単に性欲に溺れたりはせんか」

「当たり前です！ 私は獣とはちがいますー！」

「だがコレでキサマはローパー共に犯され処女ではなくなつた
薄情な女神はどんなにキサマの信仰が厚くともその加護を与えなくなつたのだ！」

「い…いたいー！ く…はあ…苦し…いー！」

「アツハハハハハハ！ 神々とは本当に薄情な連中よ
キサマの信仰心は全く変わつておらぬのに他者に汚され傷付いた…
まさにいまこそ加護が欲しい時なのにお…」

「なんとも言いなさい悪魔め！
それでも私は神を…信じ…仕えます…！」



「女神の巫女め 結局一度も屈する事無く苦痛を耐え
石となったか…そこだけは褒めてやろうあっぱれな奴だ」



「だが苦しみながら石となったその姿。これはこれでソウルものがあるな
塔の最上階にでも飾っておくか。アツハハハハハハハ！」



「なんだ巫女よ 途中からずいぶん大人しいと思っていたが
コイツすでに気を失っていたのか フン…つまらん」



「まるで寝ぼけたような顔で石になっ
ておるな
」これはこれで面白いかもしれん…最上階にでも飾っておくか

「どうだ…巫女よ 気分はどうだ？」

「ハイ…最高ですっ♡
こんなに気持ちいいの初めてです」

「生娘だと思っていたがどうやらキサマ生粋の淫乱女だったようだな」



ハイ♡ 私はドルアーガ様のおかげで本当の…アァン♪
自分が…ハァん 理解できまし…あああァん」

「ハツハツハ！愉快だ 楽しいぞ巫女…いやすでに巫女ではないな…」
「天ですメラス犬です
ローパーさえいれば幸せな触手好きな変態メラス犬れすううう♡」



「素晴らしいな
ほんの少し前まであれほど神々しく信念に満ちた目をしていた巫女がどうだ？」



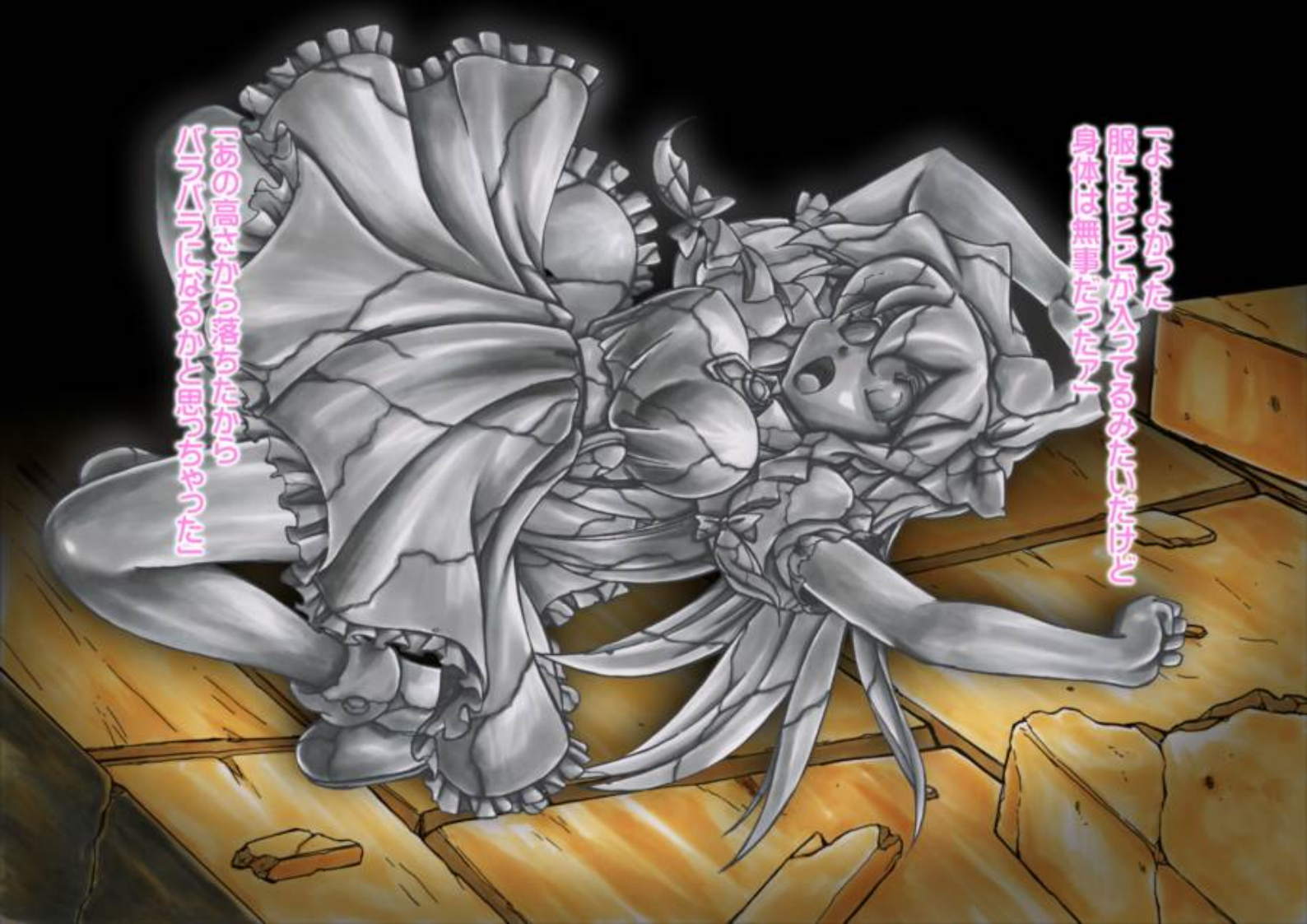
「まるで生まれながらの淫乱な顔で石と成り果てておるわ」

「見えるかイシターよ キサマの巫女など所詮はタダのメスよ！
どおれ天界からもよく見えるよう塔の最上階にでも飾っておくとするが」

「あのギルとかいう王子に」この巫女の姿を見せてやりたいの
お
「一体どんな表情をしてくれるか……楽しみだわい！」

「ふーよかった
服にはヒビが入ってるみたいだけど
身体は無事だったア」

「あの言わかり様ですかの
パンプンなるかお嬢様です」





「それ上でも
ミンタウロスが二匹もいるなんて
卑怯だよお」

「あれ…おかしいな
なんで二匹とも攻撃しに来ないの？」

「まあいいや
身体を動かして
石化を解か…ない…と」

「エイ！」

「バシューッ！」





「うそおー！
なにコレツラ
石化が解けた途端石化プレスを
吹きかけてきた！」

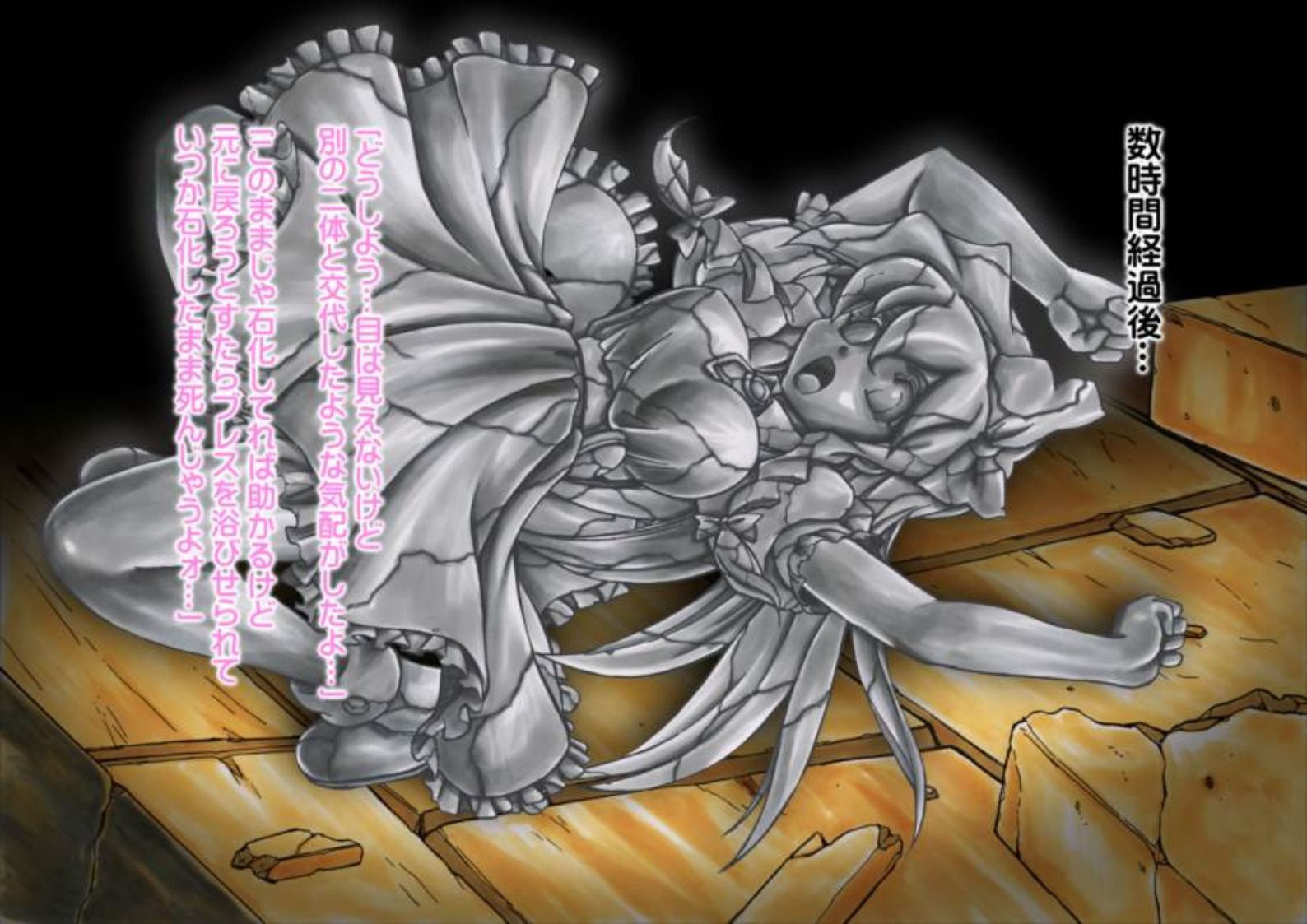
「また何もしてない
もじかして…石化を解くと
プレスを吹きかけてくるつもりなの!?」

「このお尻を叩くとお尻が動くんだぞ
誰かやってみてよな〜」



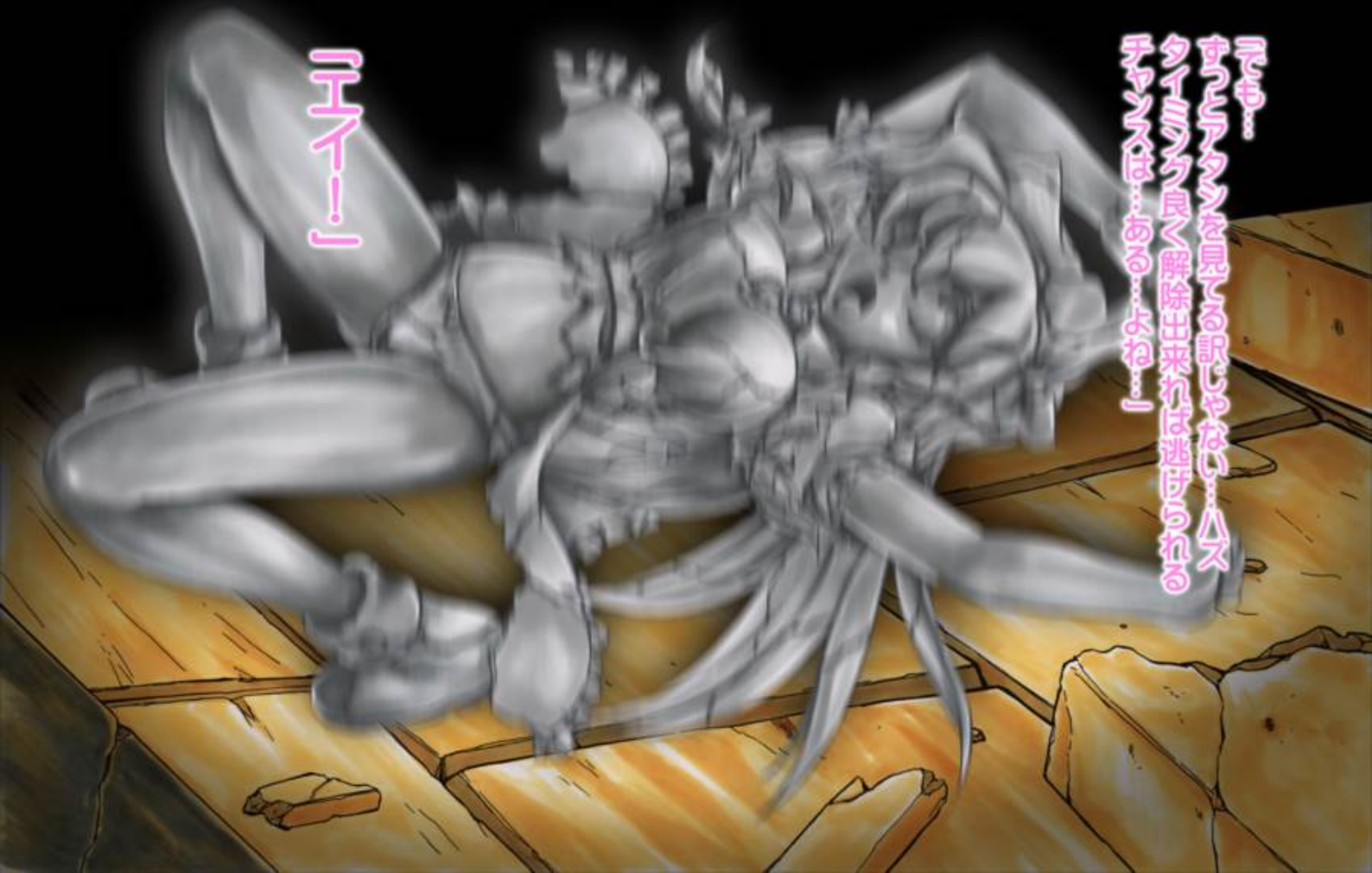
数時間経過後…

「どうしよう…自は見えないけど
別の二体と交代したような気配がしたよ…」
「このままじゃ石化してれば助かるけど
元に戻るうとすたらプレスを浴びせられて
いつか石化したまま死んじゃうよオ…」



「でも……
ずっとアタンを見てる訳じゃない……ハス
タイミンク良く解除出来れば逃げられる
チャンスは……ある……よね……」

「エイ！」





バシューッー！

「うう またやられちゃったよお…
う…まさか スカートの破けちゃった？」

「それだ…やっぱり体力も
おちついてしまったみたいなんだ」



「うーそーこれを繰り返したら
失敗のたびに体力が減って
服が壊れちゃうって事!？」



「アタンは…
ここで生きてたまま石になつてゐるくらいなら
最後まで元に戻るつて信じる。」

「母っかくリリターお母はやーん
助けてもらつたんだもん
アタンは絶対最後まで諦めないよー」



「ミラーネット家の小娘…マリアとかいったか？
あつげなく力尽きたようだな」

「いや…半人前のバンパイアハンターとしては
よく粘った…というべきかな？」



「ベルモンドの小僧に助けられた時に
素直に我が城からすぐに逃げていれば
こんな結末は避けられたのかも
しれぬのにな…」

「だが…その生き様はそれはそれで良し！
敵ながら天晴れよ！」

「衣服もほとんどが失われたか
寿命の短き人の子らしい生の執着ゆえか」

「そういえば」この娘

すでに死んでおるのか…それとも

解除するだけの力が残っていないだけなのか」



「この状態では我にもそれを知る事は出来ぬか
フム…面白いな」

「この状態では」この娘

生きても死んでもいらない存在という訳か」

「ふむ…改めて見れば
私の趣味趣向からは幼すぎる身体ではあるが
こういった美しさも…また認めよう」



「光栄と思え その姿
永遠に我が城に飾り続けてやろう！」

こうしてマリアはドラキユラの城に飾られる石像になった
ジャンプ中に石化したため躍動的なポーズに

長い金髪(今は灰色だが)は激しくなびき

幼い身体に似合わぬ豊満な胸は上下に大きく揺れた状態であり
最後まで助かるうと頑張ったがゆえに衣服は砕け散り失われてしまった

ほとんど生まれのままの姿で今…マリアは石化し飾られている

彼女はすでにその命を失い息絶えているのか
それとも石化解除が出来ないだけの生きた石像となったのか
今は誰にも分からない

仮に何者かの手によって石化解除されるまでは

彼女は「シユレディンガ」の猫「の」
生きてても死んでもいない存在となったのかもしれない

もしかすると生と死の確定しない現状こそが

ある意味…今は一番いいのかもしれない